

## 抗 Cut5 / Rad4 (*S. pombe*) 抗体, ウサギ抗血清

63-107 100 µl

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存。凍結融解は避ける。

**免疫原:** リコンビナント GST 融合 Cut5 タンパク質 (N-末端側半分)

**形状:** 0.05 % sodium azide 添加ウサギ血清

**反応性:** *S. pombe* Cut5/Rad4 タンパク質。他の種は試されていない。

**用途:**

1. ウェスタンブロッティング (500 倍希釈) 他用途は試されていない。

**背景:** Cut5 / Rad4 タンパク質は DNA 複製にとって重要なコンポーネントであり、また S 期から M 期への進行と連動して、DNA 損傷のチェック・ポイント制御に重要なタンパク質である(文献 1、2)。このタンパク質はクロマチン・タンパク質と相互作用して DNA 合成の開始、進行に必要な複合体を形成する。このタンパク質は 4 BRCT ドメインを含み分子量は 74.1 kDa で 648 個のアミノ酸から成る。

**データリンク:** Swiss-Prot [P32372](#)

**文献:** この抗体は以下の文献で用いられた。

1. Saka Y *et al* "Damage and replication checkpoint control in fission yeast is ensured by interactions of Crb2, a protein with BRCT motif, with Cut5 and Chk1." *Genes Dev* **11**:3387-3400 (1997) PMID: [9407031](#)
2. Saka Y *et al* "Fission yeast cut5 links nuclear chromatin and M phase regulator in the replication checkpoint control." *EMBO J* **13**:5319-5329 (1994) PMID: [7957098](#)

**図** この抗体を用いて *S. pombe* 粗抽出液において Cut5 / Rad4 タンパク質を検出した。

細胞をアルカリ溶解し、TCA 沈殿した。

Lane M: サイズマーカー(kDa)

Lane 1: 野生型細胞

Lane 2: 野生型 cut5 遺伝子を cut5-5Flag 遺伝子に置き換えたもの

Lane 3: 野生型遺伝子を cut5-13myc 遺伝子に置き換えたもの

Lane 4: 野生型遺伝子を cut-TAP 遺伝子に置き換えたもの

\* Cut5 タンパク質は C-末端部分がプロテアーゼ分解を受けることが知られている。native 型および分解産物が観察される (文献 2)。

